

第1章 子どもの発育・発達

- 1 子どものからだの発育・発達
- 2 原始反射から運動の発達
- 3 粗大運動と微細運動
- 4 子どもの生活と発育・発達
- 5 からだを動かすあそびと運動能力の発達

第2章 現在の子どもと運動あそびの必要性

- 1 今なぜ、運動あそびが必要なのか？
- 2 運動あそびで身につく力① 身体的な発達
- 3 運動あそびで身につく力② 認知能力・非認知能力
- 4 運動あそびで身につく力③ 社会的スキル・文化的表現
- 5 リスクマネジメントとしての運動あそびの意義
- 6 保育・教育現場の運動あそびの実践例
- 7 これからの時代の運動あそびの役割と課題

第3章 運動のメカニズム

- 1 脳の発達と運動
- 2 運動が発現する仕組みとは
- 3 運動能力の向上

第4章 幼児期の運動あそびの指導

第1節 幼児期の運動あそびの指導

- 1 運動あそびの意義
- 2 国の方針にみる幼児期の運動あそび
- 3 スポーツ基本法と幼児期への示唆
- 4 運動あそびの効果に関する研究知見
- 5 指導者に求められる視点
- 6 まとめ

第2節 幼児の運動指導のポイント

- 1 集団を扱うといった視点から指導を考える
- 2 幼児の運動会のあり方について考える

第5章 データ活用と学術的な知見～データの収集と処理～

- 1 データをとる意味
- 2 調査の種類
- 3 データの種類・処理
- 4 幼児体育分野におけるデータの内容とその活用方法
- 5 データ収集およびデータ処理の注意点

＜コラム1＞体力・運動能力の測定・評価

第6章 運動あそびの実際

第1節 体つくりの運動あそび

- 1 体を使ったあそび
- 2 指導上の留意点
- 3 導入あそび
- 4 リズムあそび・リズム体操
- 5 表現活動

第2節 器械・器具を用いた運動あそび

- 1 器械・器具を用いた運動あそびの意義
- 2 マットあそび
- 3 跳び箱あそび
- 4 平均台あそび

第3節 走・跳の運動あそび

- 1 子どもはいつから走・跳の運動ができるようになるか
- 2 幼児期の基礎的な運動習得の重要性と指導の考え方
- 3 幼児期の運動あそびの方針
- 4 走・跳の運動あそびの具体例

第4節 いろいろなゲームあそび

第5節 四季の遊び～水あそび～

- 1 水を使ったあそび
- 2 プールでの活動ができない場合の実践例

第6節 野外のあそび

- 1 なぜ野外で遊ぶことが重要か
- 2 野外でのあそびの意義と特性
- 3 野外のあそびの実際

＜コラム2＞冒険心を育むことの重要性

第7章 幼小連携（運動あそびの架け橋プログラム）

- 1 子どもの発達と幼小連携・接続
- 2 幼児の運動あそびと小学校低学年の体育
- 3 運動あそび（幼児）－体育（1年生）の「架け橋プログラム」

第8章 障がい児の運動あそびを考えるヒント

- 1 「障がい」をどう捉えるか
- 2 どんな子どもたちがいるのか
- 3 障がい児の運動あそびを考えるヒント

第9章 運動あそびの安全管理・安全教育・防災教育

第1節 安全管理

- 1 安全管理のポイント
- 2 安全管理は「誰でも実行できる」ことが大切
- 3 リスクを活かすとはどういうことか
- 4 運動あそびを通した安全教育・健康教育

第2節 安全教育・防災教育

- 1 自然災害から生命を守る
- 2 防災・減災のための避難訓練
- 3 幼児期からの防災教育とは
- 4 子どもたちと一緒に被災した際の対応